

○本県では近江米のブランド力強化や琵琶湖の保全に資する取組として、オーガニック栽培の取組拡大を図っている。

○水稲オーガニック栽培では、除草効果が不安定なため収量が低く、取組面積の拡大が進んでいない。

○そこで、除草技術の現地実証ほを設置し、機械除草を中心に複数回代かき、深水管理、米糠散布を組み合わせることで除草効果の安定を図り、水稲オーガニック栽培の取組拡大に取り組んだ。

具体的な成果

普及指導員の活動

除草技術の現地実証

■①複数回代かき、②米糠散布、③機械除草、④深水管理の除草技術に取り組み、その結果、除草効果が安定し、単収420kg/10a以上が実証できた。

■また、実証技術を研修会等で周知を図り、新規取組7戸に機械除草技術を導入することができた。

平成30年度
 ■除草技術の**実証ほを県内3カ所に設置**
 ■**実演会(6回)**や**現地研修会(1回)**、**技術研修会(1回)**を開催



機械除草実演会

令和元年度
 ■除草技術の**実証ほを県内3カ所に設置**
 ■**実演会(6回)**や**技術研修会(1回)**を開催



水稲オーガニック栽培技術研修会

令和2年度
 ■除草技術の実証ほを**県内3カ所に設置**
 ■**実演会(3カ所)**や**技術研修会(1回)**を開催
 ■水稲オーガニック栽培マニュアルを作成



①複数回代かき



②米糠散布



③機械除草



④深水管理

普及指導員だからできたこと

機械除草技術の取組生産者と技術導入面積の拡大

■機械除草技術に取り組むために新規に乗用除草機を導入した生産者7戸に対して、機械除草技術の導入をすすめ、取組面積32haの拡大を図った。

・**実証農家や除草機メーカー等と連携し、実証ほを設置し、機械除草の実演会で効果を実証できた。**農家自ら実証技術の効果を**確認**することで技術導入を進めることができた。

・**行政と連携し、補助事業等の活用を農家へ提案し、機械除草の導入を進めることにつながった。**